



とよだより



学校目標 「めあてをもって生き生きと活動し、かがやく子どもの育成」

■令和6年度全国学力・学習状況調査について■

去る4月18日(木)に全国の小学校6年生を対象に、国語・算数の2教科について「全国学力・学習状況調査」が行われました。本校では実施後、独自で採点を行い、結果発表後は学習面での強み、弱点などを分析し、学力向上に向けた取組を行いました。また、児童質問紙の結果を踏まえ、生活面での改善点や授業づくりの見直しについて考察しました。

正式な採点結果等が公表されましたので保護者の皆様方にお知らせするとともに、本校児童の学習状況を共有し、学校・家庭が連携して、子どもたちの「生きる力」の育成を図っていきたいと考えています。何卒、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

国語

	本校の正答率	三重県正答率	全国平均率
全 体	77.0	67.0	67.7
知識及び技能(言葉の特徴や使い方に関する事項)	76.9	64.2	64.4
// (情報の扱いに関する事項)	92.3	86.5	86.9
// (我が国の言語文化に関する事項)	76.9	73.6	62.7
思考・判断・表現等 (話すこと・聞くこと)	74.4	58.7	59.8
// (書くこと)	76.9	68.2	68.4
// (読むこと)	75.6	70.2	70.7

算数

	本校の正答率	三重県正答率	全国正答率
全 体	68.0	62.0	63.4
A 数と計算	70.5	64.5	66.0
B 図形	67.3	65.8	66.3
C 変化と関係	60.3	49.7	51.7
D データの活用	66.3	61.0	61.8

児童質問紙

教科についての質問を含め、63問の質問に対して、基本的には、1当てはまる、2どちらかといえば当てはまる、3どちらかといえば当てはまらない、4当てはまらないの選択肢から児童がタブレットにて回答しました。

(分析については裏面に続きます)

■ 国語について ■

6つのすべての観点において、全国及び県の正答率を上回っており、国語の力がしっかり定着していると思われます。日頃の取組や児童のみなさんの努力の成果がみられます。本校では総合的な学習の時間や生活科の時間を中心に、地域に根ざした探究的な学びを進めています。課題について情報収集したり、現地に出かけて話を聞いたりインタビューするなどの活動をしています。そして、それらの情報を整理し、自分の考えを持ち、それをグループで話し合いながらまとめ、伝える学習をしています。これらの積み重ねが、「話すこと・聞くこと」や「情報の扱い」の正答率につながっていると思われます。11月の授業参観では、探究的な学びの様子をご覧ください。

しかし、「競技」の書き取り問題や目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く問題では無回答が全校平均より多いなど課題が見られました。

基礎・基本の力を育てるとともによりわかりやすく伝えるには、どう工夫するといいか、違う表現方法はないかなど、向上心を持って取り組む姿勢の涵養に努めていきます。また、プレゼン発表などの機会を増やし、互いに見合いながら、より良い表現・伝え方の力を育成していきます。

■ 算数について ■

算数についても、伸び悩みがみられた「図形」の領域を含め、4つのすべての観点において、全国及び県の正答率を上回っており、安定した力が定着していると思われます。解答の正誤を見るだけでなく、思考の過程を大事にし、算数用語を使った考え方の説明などの活動や話し合いを軸にした協働的な学習に、学校全体で取り組んできた成果がみられました。

しかし、改善が見られた図形の問題でも、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉えられるかを問う問題の正答率が低く、知識と知識をつなげて考えることに課題が見られました。また、折れ線グラフをもとに、言葉と数を用いて記述する問題でも課題がみられました。

「長さが短い」と目で見て比較・判断ができる力や、図や立体をイメージしながら考える力の育成の必要性が感じられました。個別最適な学びによって、知識・技能の基礎・基本の定着を図っていきます。また、解き方や考え方を説明することを重視した授業づくりを継続するとともに、算数での学びが生活に役立つことを実感できる授業を進めていきたいと思えます。

■ 児童質問紙について ■

- ・「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という設問に対し9割以上の児童が1または2と解答し、相手を思う意識の高さがうかがえました。
- ・「先生はあなたのよいところをみとめてくれている」の設問で肯定的な回答が96%以上あり、各クラスでの「価値語」の取組や日常でのほめ言葉の活動が基盤となっているようです。「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人たちにいつでも相談できる」という設問にも、7割以上が肯定的な回答でしたが、子どもたちがより安心して学校生活をおくれるように、これからも居心地の良さやアタッチメントを大事にした学校づくりに努めていきます。
- ・「将来の夢や目標を持っている」という設問では「持っている」という回答は半数だけで全国平均より10%低い結果でした。将来を見据えたキャリア教育の必要性がうかがえました。
- ・平日にタブレットやスマホなどでのゲーム、SNSや動画視聴を4時間以上しているという回答が多かったです。目の健康や生活面での自己調整力に気を付けてほしいと思えます。
- ・国語、算数を学ぶことの大切さは感じているものの、「好きではない」という回答が多かったという結果を踏まえ、さらなる授業改善に努めていきたいと思えます。